

GS 年金型投資戦略ファンド

積極プラン(年2回決算)／安定プラン(年2回決算)／安定プラン(毎月決算)
追加型投信／内外／資産複合(資産配分変更型)

投資信託説明書
(交付目論見書)

2016.11.19



- 本書は金融商品取引法第13条の規定に基づく目論見書です。
- ファンドに関する「投資信託説明書(請求目論見書)」を含む詳細な情報は委託会社のホームページで閲覧、ダウンロードすることができます。また、本書には約款の主な内容が含まれていますが、約款の全文は請求目論見書に掲載されています。
- ファンドの販売会社、ファンドの基準価額等については、下記の照会先までお問い合わせください。

[委託会社] ファンドの運用の指図を行う者

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第325号

[受託会社] ファンドの財産の保管および管理を行う者

株式会社りそな銀行

■照会先 ホームページ
アドレス www.gsam.co.jp

電話番号 03-6437-6000 (受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

商品分類			属性区分				
単位型・追加型	投資対象地域	投資対象資産 (収益の源泉)	投資対象資産	決算頻度	投資対象地域	投資形態	為替ヘッジ
追加型	内外	資産複合	その他資産 (投資信託証券(資産複合 (株式、債券、不動産投信、 その他資産)資産配分変 更型))	積極プラン(年2回決算)および 安定プラン(年2回決算)：年2 回 安定プラン(毎月決算)：年12 回(毎月)	グローバル (日本を含む)	ファミリー・ ファンド	あり (適時ヘッジ)

※属性区分に記載している「為替ヘッジ」は、対円での為替リスクに対するヘッジの有無を記載しています。

上記は、一般社団法人投資信託協会が定める分類方法に基づき記載しています。商品分類および属性区分の内容につきましては、一般社団法人投資信託協会のホームページ(<http://www.toushin.or.jp/>)をご参照ください。

- この目論見書により行うGS 年金型投資戦略ファンド 積極プラン(年2回決算)、GS 年金型投資戦略ファンド 安定プラン(年2回決算)およびGS 年金型投資戦略ファンド 安定プラン(毎月決算)(以下、これらのファンドを総称して「本ファンド」といいます。)の受益権の募集については、委託会社は、金融商品取引法(昭和23年法律第25号)第5条の規定により、有価証券届出書を平成28年5月19日に関東財務局長に提出しており、平成28年5月20日にその届出の効力が生じております。
- 本ファンドは、投資信託及び投資法人に関する法律に基づいて組成された金融商品であり、同法に基づき、本ファンドでは商品内容の重大な変更を行う場合に、事前に投資家(受益者)の意向を確認する手続き等を行います。
- 本ファンドの信託財産は、受託会社により保管されますが、信託法によって受託会社の固有財産等との分別管理等が義務付けられています。
- 請求目論見書は投資家の請求により販売会社から交付されます(請求を行った場合には、その旨をご自身で記録しておくようにしてください。)
- GS 年金型投資戦略ファンド 積極プラン(年2回決算)を「積極プラン(年2回決算)」または「積極プラン」、GS 年金型投資戦略ファンド 安定プラン(年2回決算)を「安定プラン(年2回決算)」、GS 年金型投資戦略ファンド 安定プラン(毎月決算)を「安定プラン(毎月決算)」、GS 年金型投資戦略ファンド 安定プラン(年2回決算)およびGS 年金型投資戦略ファンド 安定プラン(毎月決算)を総称して「安定プラン」ということがあります。
- ご購入に際しては、本書の内容を十分にお読みください。

委託会社の情報

委託会社名：ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社

設立年月日：1996年2月6日

運用する証券投資信託財産の合計純資産総額：1兆5,780億円(2016年9月末現在)

資本金：4億9,000万円(2016年11月18日現在)

グループ資産残高(グローバル)：1兆1,270億米ドル(2016年6月末現在)

※本ファンドは、公的年金の運用を参考にしたゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント独自の投資戦略を遂行することをめざす投資信託であり、公的年金あるいは年金積立金管理運用独立行政法人(以下「GPIF」といいます。)と何らかの関係を有するものではありません。本ファンドの運用は、GPIFの運用成果に連動することをめざすものではありません。さらに生命保険会社等が提供する年金商品とは異なります。本ファンドは販売会社がお客様と投資一任契約を締結して運用を行う形態(ラップ口座)ではなく、複数の資産に分散投資するファンドにお客様自身の判断により投資するものです。本ファンドは値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。

ファンドの目的

積極プラン：日本を含む世界のさまざまな資産および投資手法を活用する投資信託証券へ分散投資することにより、信託財産の長期的な成長をめざして運用を行います。

安定プラン：日本を含む世界のさまざまな資産および投資手法を活用する投資信託証券へ分散投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

ファンドの特色

ファンドのポイント

1 グローバルの経済成長を収益の源泉として、幅広く分散投資を行います。

※マザーファンドを通じて、日本を含む世界の株式、債券、通貨、不動産投資信託(リート)、コモディティ、マスター・リミテッド・パートナーシップ(MLP)およびヘッジファンド等のさまざまな資産および投資手法を活用する投資信託証券に分散投資を行い、資産価値の向上をめざします。ただし、上記すべての資産に投資するとは限りません。

※運用目的の異なる複数のプランがあります。くわしくは、5～6ページをご覧ください。

積極プラン(年2回決算)／安定プラン(年2回決算)／安定プラン(毎月決算)

※実質外貨建資産については、投資判断により対円での為替ヘッジを行うことがあります。

2 市場の下落に備え、資産価値の減少リスクを抑制することをめざします。

3 市場環境等の変化に応じて、柔軟に投資対象、投資手法、配分比率を見直します。

市況動向や資金動向その他の要因等によっては、運用方針に従った運用ができない場合があります。

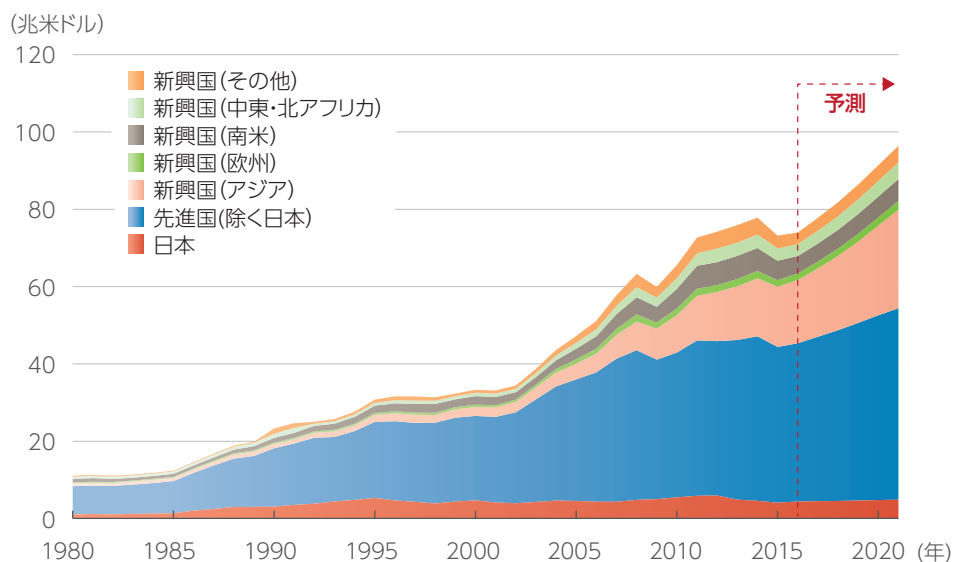
本ファンドはファミリーファンド方式で運用を行います。マザーファンドは、ファンド・オブ・ファンズ方式で運用を行います。委託会社は、本ファンドおよびマザーファンドの運用をゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント・エル・ピー、ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント・インターナショナルおよびゴールドマン・サックス(シンガポール)ピーティーイー(投資顧問会社。以下、それぞれ「GSAMニューヨーク」「GSAMロンドン」および「GSAMシンガポール」といいます。)に委託します。GSAMニューヨーク、GSAMロンドンおよびGSAMシンガポールは運用の権限の委託を受けて、有価証券の運用を行います。なお、文脈上別に解す場合を除き、「本ファンド」にマザーファンドを含むことがあります。

委託会社が属するゴールドマン・サックスの資産運用グループ全体を「ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント」といいます。

1 グローバルの経済成長と分散投資

世界中のさまざまな資産を投資対象とし、多様な収益機会を捉えることをめざします。

名目GDP推移(1980年-2021年)



出所：IMF(国際通貨基金)World Economic Outlook, April 2016(概算値、予測値を含む)

本ファンドの投資対象

	株式	債券	その他
先進国	○	○	○
新興国	○	○	○

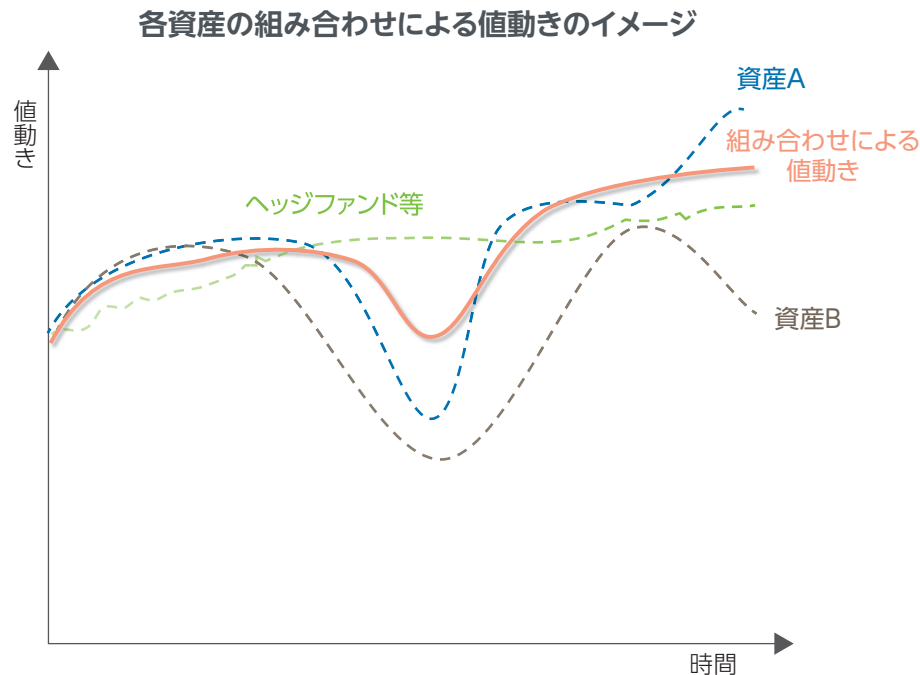
投資対象およびその組入比率は、適宜見直します。

実質外貨建資産については、投資判断により対円での為替ヘッジを行うことがあります。

上記は過去のデータおよび一時点における予測値であり、将来の動向を示唆あるいは保証するものではありません。経済、市場等に関する予測は本書作成時点のものであり、情報提供を目的とするものです。予測値の達成を保証するものではありません。

② 下落リスクへの対応

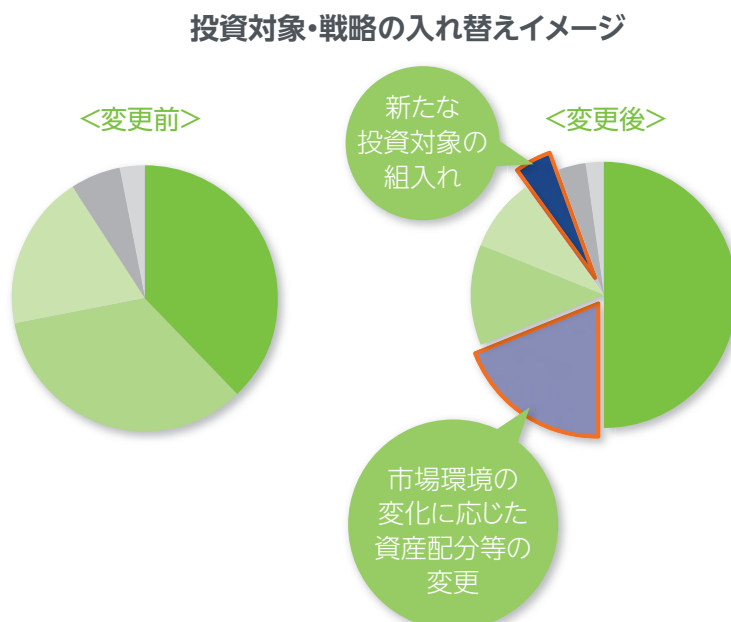
リスク抑制のため、値動きの特徴が異なる投資対象を効果的に組み合わせることをめざします。市場環境にかかわらず収益を追求するヘッジファンド等を活用します。



上記は、例示をもって理解を深めていただくことを目的とした概念図であり、運用の成果を保証するものではありません。本戦略がその目的を達成できる保証はなく、損失が生じることもあります。

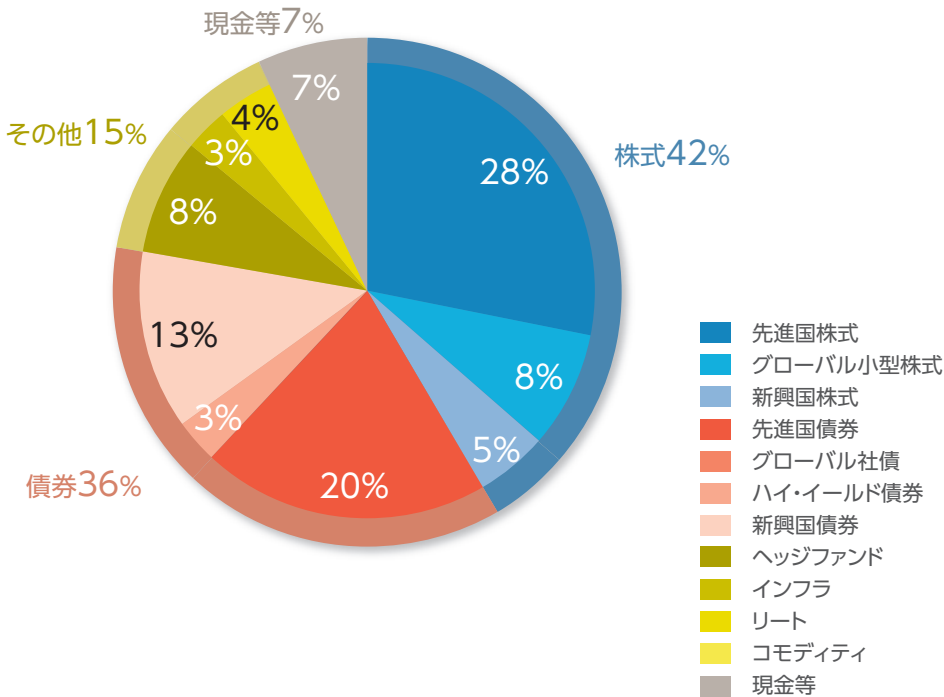
③ 市場環境等の変化に応じた柔軟な見直し

市場環境等の変化に応じて、投資対象・戦略の入れ替えを行います。



上記は、例示をもって理解を深めていただくことを目的とした概念図であり、運用の成果を保証するものではありません。ポートフォリオの内容は、市場の動向等を勘案して適宜変更されます。

運用目的の異なる複数の運用プランがあります。

	積極プラン
	年2回決算
運用プラン	公的年金のポートフォリオを参照しつつ、積極的に資産の成長をめざします。
お客様の運用目的	● 年金資産の上乗せ分として資産形成を図りたい ● 積極的に資産形成を図りたい
資産配分比率 (マザーファンド) (2016年8月末現在)	 株式42% 債券36% 現金等7% その他15% 先進国株式 28% グローバル小型株式 8% 新興国株式 5% 先進国債券 20% グローバル社債 3% ハイ・イールド債券 3% 新興国債券 8% ヘッジファンド 4% インフラ 3% リート 4% コモディティ 7% 現金等 7%

▶ 資産配分は、ポートフォリオおよび各資産の変動率ならびに流動性、資金動向および市況動向等を勘案して柔軟に変更します。

▶ 実質外貨建資産については、投資判断により対円での為替ヘッジを行うことがあります。

上記の比率は小数点以下を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

本ファンドはファミリーファンド方式で運用を行います。上記は「年金型投資戦略・積極マザーファンド」のデータです。上記は過去の実績であり、将来の結果を示唆または保証するものではありません。

お客様の運用目的が達成できる保証はありません。

安定プラン	
	年2回決算 毎月決算
運用プラン	公的年金のポートフォリオを参照しつつ、安定した資産の成長をめざします。
お客様の運用目的	● 年金資産の上乗せ分として資産形成を図りたい ● 安定的に資産形成を図りたい ● 運用成果*を受け取りつつ、安定的な運用を行いたい
資産配分比率 (マザーファンド) (2016年8月末現在)	株式20% 債券62% 現金等7% その他10% 先進国株式 14% グローバル小型株式 4% 新興国株式 2% 先進国債券 53% グローバル社債 3% ハイ・イールド債券 1% 新興国債券 5% ヘッジファンド 7% インフラ 1% リート 2% コモディティ 1% 現金等 7%

▶ 資産配分は、ポートフォリオおよび各資産の変動率ならびに流動性、資金動向および市況動向等を勘案して柔軟に変更します。

▶ 実質外貨建資産については、投資判断により対円での為替ヘッジを行うことがあります。

上記の比率は小数点以下を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

本ファンドはファミリーファンド方式で運用を行います。上記は「年金型投資戦略・安定マザーファンド」のデータです。上記は過去の実績であり、将来の結果を示唆または保証するものではありません。

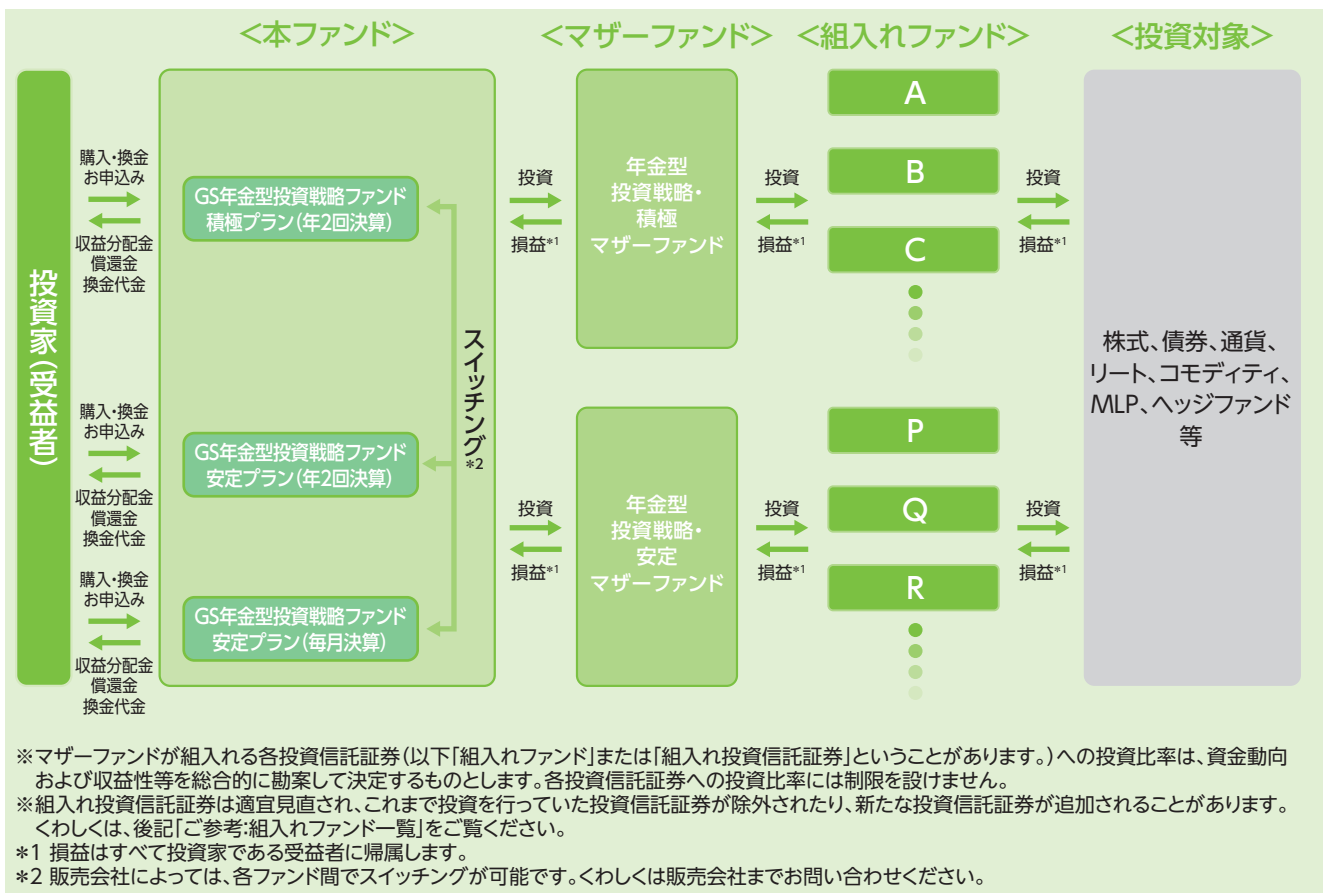
運用状況によっては、分配金額が変わる場合あるいは分配金が支払われない場合があります。

お客様の運用目的が達成できる保証はありません。

*分配金は、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。くわしくは、10ページの「収益分配金に関わる留意点」をご覧ください。

ファンドの仕組み

本ファンドの運用は、ファミリーファンド方式で行います。ファミリーファンド方式とは、投資家からの資金をまとめてベビーファンドとし、その資金を実質的に同一の運用方針を有するマザーファンドに投資して、実質的な運用を行う仕組みです。
マザーファンドの運用は、ファンド・オブ・ファンズ方式で行います。



主な投資制限

- 投資信託証券への実質投資割合には制限を設けません。
- 株式(投資信託証券を除きます。)への直接投資は行いません。
- 外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
- 投資信託証券および短期金融商品等以外の有価証券への直接投資は行いません。
- 有価証券先物取引等の派生商品取引の指図ならびに有価証券の貸付、空売りおよび借入れの指図は行いません。
- 1発行者に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ取引等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則としてそれぞれ10%、合計で20%以下とします。

ファンドの運用

本ファンドの実質的な運用は、GSAMニューヨークを拠点としたグローバル・ポートフォリオ・ソリューションズ(GPS)が行います。

なお、GSAMニューヨークのほか、GSAMロンドンおよびGSAMシンガポールにも組入れ投資信託証券および為替の運用指図に関する権限を委託します。

マルチ・アセット運用専門チーム
グローバル・ポートフォリオ・ソリューションズ(GPS)

2016年6月末現在

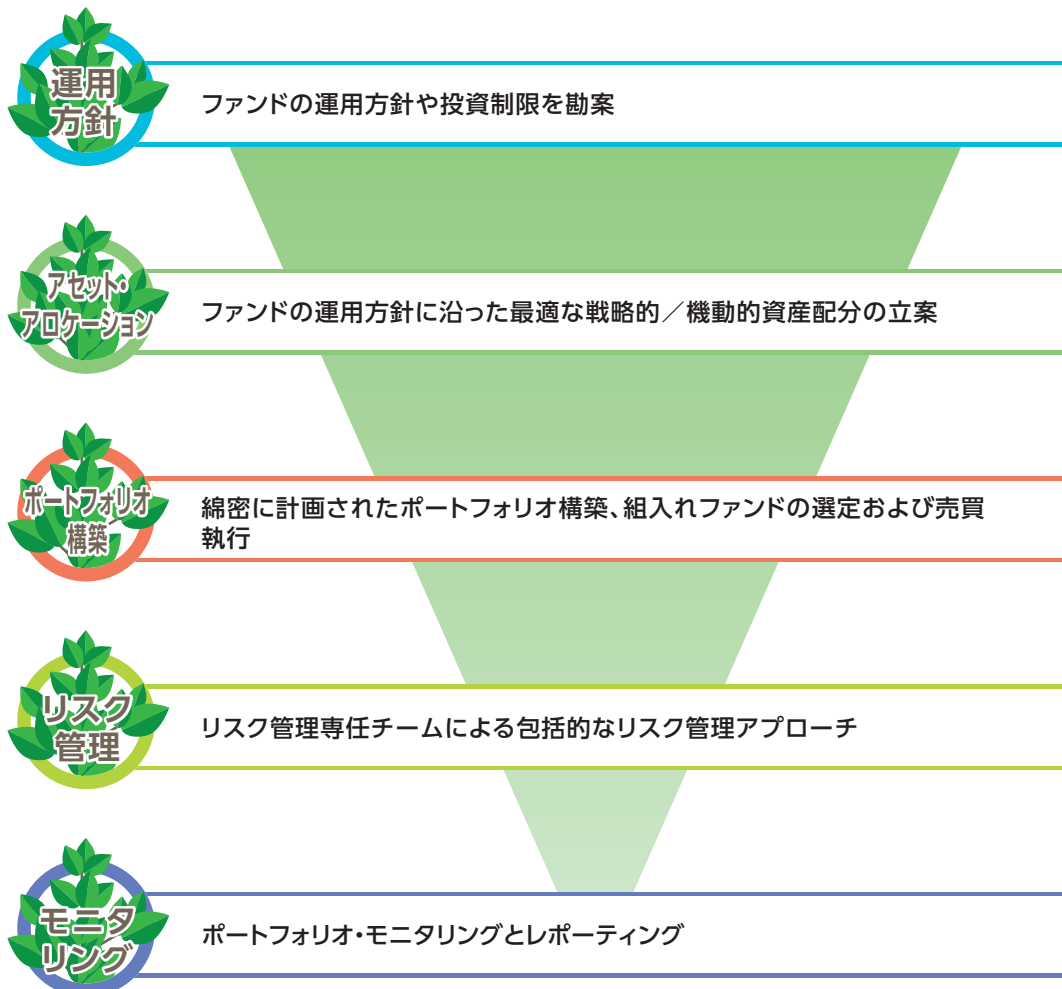
さまざまな分野の120名超の専門家集団

- ✓ ファイナンス理論、数学、物理学、工学、法学、会計学、コンピューター・サイエンス、アクチュアリー

ゴールドマン・サックス・グループの総合力と専門性

- ✓ 債券、株式からオルタナティブまで幅広い運用実績
- ✓ 独自分析による革新的なアイディア
- ✓ グループ内外のリソースを活用し、最適ポートフォリオを構築

運用プロセス



上記がその目的を達成できる保証はありません。
また、上記の運用体制および運用プロセスは変更される場合があります。

分配方針



積極プラン(年2回決算)および安定プラン(年2回決算)

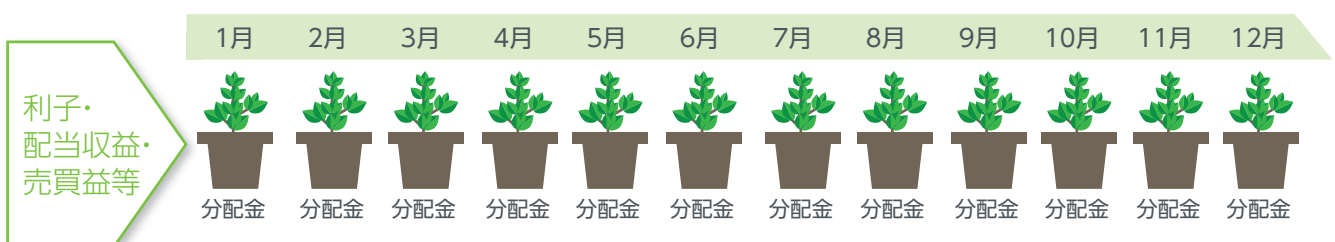
原則として、年2回の決算時(毎年2月19日および8月19日。ただし、休業日の場合は翌営業日。)に、利子・配当等収益および売買益(評価益を含みます。)を中心に収益分配を行います。分配金額は、基準価額水準、市場動向等を勘案して、委託会社が決定します。ただし、基準価額水準や市場動向等によっては分配を行わないこともあります。また、基準価額が当初元本(1万円=1万円)を下回る場合においても分配を行うことがあります。将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。



安定プラン(毎月決算)

原則として、毎月の決算時(毎月19日。ただし、休業日の場合は翌営業日。)に、利子・配当等収益および売買益(評価益を含みます。)を中心に収益分配を行います。分配金額は、基準価額水準や市場動向等を勘案して、委託会社が決定します。ただし、基準価額水準や市場動向等によっては分配を行わないこともあります。また、基準価額が当初元本(1万円=1万円)を下回る場合においても分配を行うことがあります。将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

収益分配のイメージ



※上記はイメージ図であり、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。



収益分配金に関わる留意点

分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

投資信託で分配金が支払われるイメージ

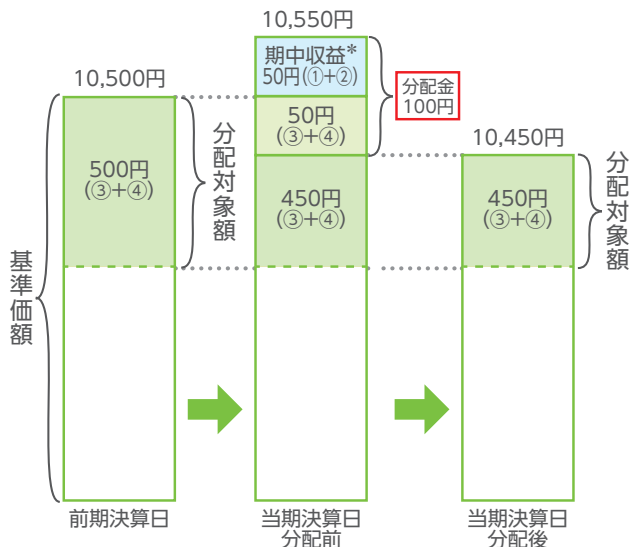


分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行った場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。

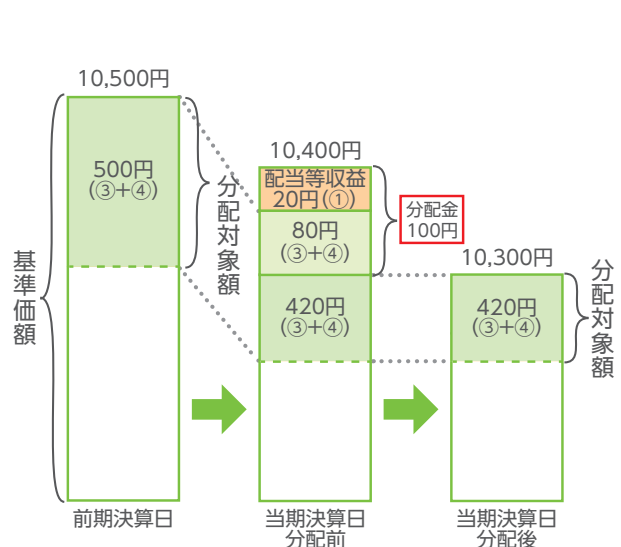
※分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。分配対象額とは、①経費控除後の配当等収益②経費控除後の評価益を含む売買益③分配準備積立金(当該計算期間よりも前に累積した配当等収益および売買益)④収益調整金(信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分)です。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算から基準価額が上昇した場合



前期決算から基準価額が下落した場合



※上図の期中収益は以下の2項目で構成されています。

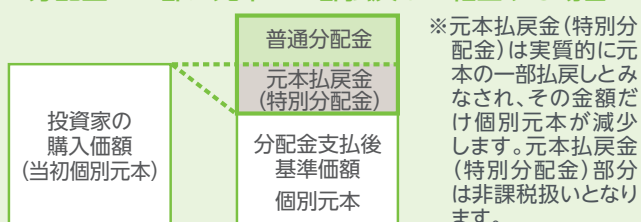


※上記はイメージ図であり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

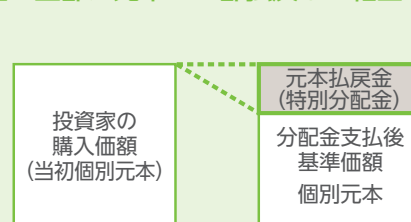
上記のとおり、分配金は計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合がありますので、元本の保全性を追求される投資家の場合には、市場の変動に伴う組み入れ資産の価値の減少だけでなく、収益分配金の支払いによる元本の払戻しにより、本ファンドの基準価額が減価することに十分ご注意ください。

投資家のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の基準価額の値上がり、支払われた分配金額より小さかった場合も実質的に元本の一部払戻しに相当することがあります。元本の一部払戻しに該当する部分は、元本払戻金(特別分配金)として非課税の扱いになります。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金: 個別元本(投資家のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

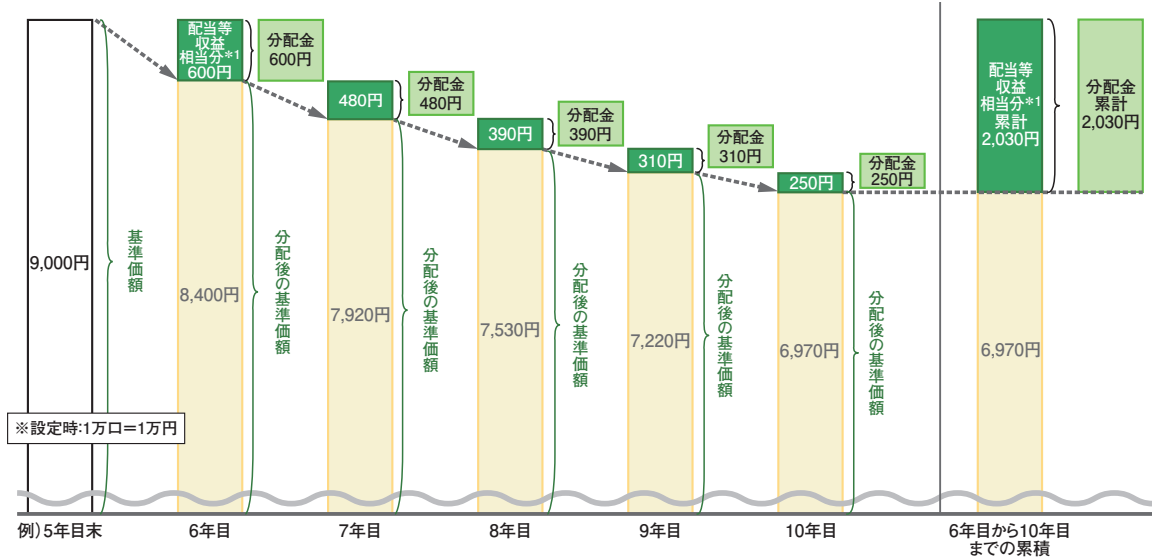
元本払戻金: 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資家の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。(特別分配金)

(注) 普通分配金に対する課税については、後記「手続・手数料等」の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

数年にわたって基準価額が下落した場合

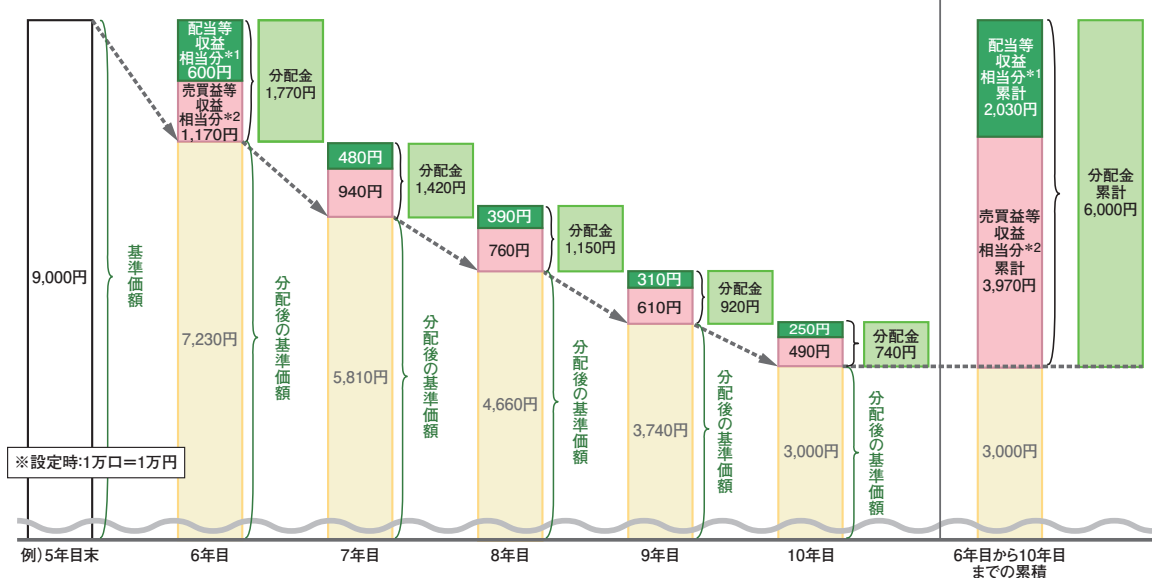
① 配当等収益を中心に分配する場合 ※年間のリターン(税引前分配金込み)が0%と仮定

※この図では、年間のリターンを一定と仮定していますが、実際の基準価額は市場変動等により大きく下落することがあり、また、分配金額等は変動しますのでご注意ください。



② 配当等収益に加え、売買益(評価益を含みます。)も分配する場合 ※年間のリターン(税引前分配金込み)が0%と仮定

※この図では、年間のリターンを一定と仮定していますが、実際の基準価額は市場変動等により大きく下落することがあり、また、分配金額等は変動しますのでご注意ください。



*1 配当等収益相当分には分配準備積立金(当該期間よりも前に累積した配当等収益および売買益等収益)のうち配当等収益を含む場合があります。

*2 売買益等収益相当分には分配準備積立金(当該期間よりも前に累積した配当等収益および売買益等収益)のうち売買益等収益および収益調整金を含む場合があります。

(注) 上図はイメージ図であり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

収益分配金は必ずしも当該計算期間中に得た収益から支払われるわけではなく、決算時点での基準価額の水準に関わらず過去に得た収益から支払われる場合があります。

上図は①配当等収益を中心に分配した場合と、②配当等収益に加えて売買益等収益も分配した場合の基準価額の変動を示しています。例えば、①の6年目では1年間に得た配当等収益を中心に分配を支払ったため、その分基準価額が下落しています。一方、②では配当等収益に加えて売買益等収益相当分を分配したため、①と比較するとその分さらに基準価額が下落しています。②の6年目から10年目までに受益者は合計で6,000円分(配当等収益相当分2,030円+売買益等収益相当分3,970円)の収益分配を受領し、基準価額は3,000円になっています。上図の例において、売買益等収益を支払わなかった場合、累計でみた分配後の基準価額は6,970円(3,000円+3,970円)になります。

配当等収益相当分
売買益等収益相当分
分配金
分配後の基準価額

ご参考：組入れファンド一覧

本ファンドが実質的に投資対象としている投資信託証券は以下の通りです。
ただし、すべての投資信託証券に投資するとは限りません。下記に記載されていない上場投資信託証券(ETF)を組み入れる場合があります。また、組入れファンドについては適宜見直しを行います。

	ファンド名	主な投資対象	投資目的
株式	ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. ゴールドマン・サックス・グローバル・エクイティ・パートナーズ	日本を含む世界の株式および株式関連証券	アクティブ運用により、信託財産の長期的な成長をめざします。
	ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. ゴールドマン・サックス・グローバルCOREエクイティ・ポートフォリオ	日本を含む世界の株式および株式関連証券	計量運用により、長期的な投資元本の成長をめざします。
	ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. ゴールドマン・サックスGIVIグローバル・エクイティ・グロース・マーケット・ティルト・ポートフォリオ	日本を含む世界の株式および株式関連証券	S&P GIVIグローバル・グロース・マーケット・ティルトをベンチマークとし、ベンチマークのグロース・トータル・リターンに概ね連動した運用をめざします。
	ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. ゴールドマン・サックス・グローバル・スモール・キャップCOREエクイティ・ポートフォリオ	日本を含む世界の小型株式および株式関連証券	計量運用により、長期的な投資元本の成長をめざします。
	ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. ゴールドマン・サックス・エマージング・マーケット・エクイティ・ポートフォリオ	エマージング諸国の株式および株式関連証券	アクティブ運用により、信託財産の長期的な成長をめざします。
	ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. ゴールドマン・サックス・エマージング・マーケットCOREエクイティ・ポートフォリオ	エマージング諸国の株式および株式関連証券	計量運用により、長期的な投資元本の成長をめざします。
	ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. ゴールドマン・サックスUSエクイティ・ポートフォリオ	米国の株式および株式関連証券	アクティブ運用により、信託財産の長期的な成長をめざします。
	ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. ゴールドマン・サックス・ジャパン・エクイティ・ポートフォリオ	日本の株式および株式関連証券	アクティブ運用により、信託財産の長期的な成長をめざします。
	ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. ゴールドマン・サックス・ヨーロッパCOREエクイティ・ポートフォリオ	欧州の株式および株式関連証券	計量運用により、長期的な投資元本の成長をめざします。
	ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. ゴールドマン・サックスGIVIヨーロッパ・エクイティ・ポートフォリオ	欧州の株式および株式関連証券	S&P GIVIヨーロッパをベンチマークとし、ベンチマークのグロース・トータル・リターンに概ね連動した運用をめざします。
	iシェアーズ米ドルヘッジMSCIユーロゾーンETF	MSCI EMUインデックス(100%対米ドル為替ヘッジ)に含まれる欧州の株式	MSCI EMUインデックスをベンチマークとし、ベンチマークに概ね連動した運用をめざします。
	iシェアーズ・コアMSCIエマージング・マーケットIMI UCITS ETF	MSCIエマージング・マーケット・インバスタブル・マーケット・インデックスに含まれるエマージング諸国の株式	左記インデックスをベンチマークとし、ベンチマークに概ね連動した運用をめざします。
	iシェアーズMSCIジャパンETF	MSCIジャパン・インデックスに含まれる日本の株式	左記インデックスをベンチマークとし、ベンチマークに概ね連動した運用をめざします。
債券	SPDR S&P バンクETF	S&Pバンク・セレクト・インダストリー・インデックスに含まれる株式	左記インデックスをベンチマークとし、ベンチマークに概ね連動した運用をめざします。
	iシェアーズMSCIインドETF	MSCIインド・インデックスに含まれるインドの株式	MSCIインド・インデックスをベンチマークとし、ベンチマークに概ね連動した運用をめざします。
	ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. ゴールドマン・サックス・グローバル・フィックス・インカム・ポートフォリオ(為替ヘッジあり)	日本を含む世界の投資適格債券等	収入(インカム・ゲイン)と資産価値増加(キャピタル・ゲイン)からなるトータル・リターンを獲得することをめざします。
	ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. ゴールドマン・サックス・グローバル・フィックス・インカム・ポートフォリオ	日本を含む世界の投資適格債券等	収入(インカム・ゲイン)と資産価値増加(キャピタル・ゲイン)からなるトータル・リターンを獲得することをめざします。
	ゴールドマン・サックス・インスティテュショナル・インベストメント・トラスト コクサイ・フィックス・インカム・ファンド(為替ヘッジあり)	日本を除く世界の投資適格債券	日本を除く世界の投資適格債券への投資およびアクティブ通貨運用を通じて安定してベンチマークであるシティ世界国債インデックス(除く日本)100%為替ヘッジを上回る運用成果をめざします。
	ゴールドマン・サックス・インスティテュショナル・インベストメント・トラスト コクサイ・フィックス・インカム・ファンド(為替ヘッジなし)	日本を除く世界の投資適格債券	日本を除く世界の投資適格債券への投資およびアクティブ通貨運用を通じて安定してベンチマークであるシティ世界国債インデックス(除く日本)為替ヘッジなしを上回る運用成果をめざします。
	ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. ゴールドマン・サックス・グローバル・クレジット・ポートフォリオ(為替ヘッジあり)	日本を含む世界の投資適格社債等	収入(インカム・ゲイン)と資産価値増加(キャピタル・ゲイン)からなるトータル・リターンを獲得することをめざします。

※上記投資信託証券については、日々の流入額が純資産総額の一定割合を超える場合、純資産価格の調整が行われる場合があります。これは、資金の流入から受ける取引コスト等が当該投資信託証券に与えるインパクトを軽減することを意図していますが、算出日における資金の流入の動向が、純資産価格に影響を与えることになります。
※本ファンドの実質的な投資対象である組入れ投資信託証券に運用報酬はかかりません。上場投資信託証券(ETF)で発生する運用報酬は本ファンドを通じて間接的にご負担いただきますが、負担額は運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を表示することができません。

2016年8月現在

ご参考：組入れファンド一覧（続き）

本ファンドが実質的に投資対象としている投資信託証券は以下の通りです。
ただし、すべての投資信託証券に投資するとは限りません。下記に記載されていないETFを組み入れる場合があります。
また、組入れファンドについては適宜見直しを行います。

	ファンド名	主な投資対象	投資目的
債券	ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. ゴールドマン・サックス・グローバル・ハイ・イールド・ポートフォリオ	北米およびヨーロッパの企業が発行する、投資適格未満の有価証券	収入（インカム・ゲイン）と資産価値増加（キャピタル・ゲイン）からなるトータル・リターンを獲得することをめざします。
	ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. ゴールドマン・サックス・エマージング・マーケット・デット・ポートフォリオ	エマージング諸国の米ドル建て債券	収入（インカム・ゲイン）と資産価値増加（キャピタル・ゲイン）からなるトータル・リターンを獲得することをめざします。
	ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. ゴールドマン・サックス・エマージング・マーケット・デット・ローカル・ポートフォリオ	エマージング諸国の現地通貨建て債券	収入（インカム・ゲイン）と資産価値増加（キャピタル・ゲイン）からなるトータル・リターンを獲得することをめざします。
	ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. ゴールドマン・サックス・グローバル・ストラテジック・インカム・ボンド・ポートフォリオ	日本および新興国を含む世界の政府および政府機関が発行する債券、社債（ハイ・イールド債券を含みます。）、モーゲージ証券、アセットバック証券および通貨等	市場環境に応じて機動的に資産配分を行い、利息収入（インカム・ゲイン）と資産価値増加（キャピタル・ゲイン）からなるトータル・リターンを獲得することをめざします。
	ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. ゴールドマン・サックス・グローバル・カレンシー・プラス・ポートフォリオ	日本および新興国を含む世界の通貨、債券およびキャッシュ等	長期的に資産価値増加（キャピタル・ゲイン）の獲得をめざします。
その他	ゴールドマン・サックス・ルクス・インベストメント・ファンズ ゴールドマン・サックス・ストラテジック・コモディティーズ・ポートフォリオ（ルクス）	商品指数先物、個別の商品先物および米ドル建て債券、キャッシュ等	デリバティブ取引等を用いて、商品指数先物、個別の商品先物へのエクスポージャーをとることで資産価値増加（キャピタル・ゲイン）の獲得をめざします。
	ゴールドマン・サックス・ルクス・インベストメント・ファンズ カスタム・オルタナティブ・リスク・プレミア・ポートフォリオ（ルクス）	株式、債券、社債、通貨、コモディティ等への直接およびデリバティブ等を用いた間接投資	複数のオルタナティブ・リスク・プレミア戦略への分散投資を通じて伝統的資産クラスとのベータの低い絶対リターンをめざします。
	ゴールドマン・サックス・インベストメント・ユニット・トラスト エンハンスト・コモディティ・サブ・トラスト	商品指数先物取引等（S&P GSCI先物またはS&P GSCIを構成する個別の商品先物）と米ドル建て投資適格債券	S&P GSCIトータル・リターン・インデックス（米ドル・ベース）をベンチマークとし、ベンチマークを上回る投資成果をめざします。
	SPDR® ゴールド・シェア	金	経費控除前で、金地金の価格の動向を反映させることを目標とします。
	SPDR®ダウ・ジョーンズ® REIT ETF	ダウ・ジョーンズUSセレクトREITインデックスに含まれる米国のREIT	ダウ・ジョーンズUSセレクトREITインデックスをベンチマークとし、ベンチマークに概ね連動した運用をめざします。
	SPDR®ダウ・ジョーンズ® インターナショナル・リアル・エステートETF	ダウ・ジョーンズex-USセレクトREITインデックスに含まれる米国を除く日本を含む世界のREIT	ダウ・ジョーンズex-USセレクトREITインデックスをベンチマークとし、ベンチマークに概ね連動した運用をめざします。
	iシェアーズ・グローバル・インフラストラクチャーETF	S&Pグローバル・インフラストラクチャー・インデックスに含まれる日本を含む先進国のインフラ関連企業の株式	S&Pグローバル・インフラストラクチャー・インデックスをベンチマークとし、ベンチマークに概ね連動した運用をめざします。
	ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. ゴールドマン・サックス・アブソリュート・リターン・トラッカー・ポートフォリオ	日本および新興国を含む世界の株式、商品先物等、債券、社債、クレジット（ハイ・イールド債券を含みます。）	広範な資産クラスからなる複数のヘッジファンドから構成されるポートフォリオのリターンの特徴に概ね連動した運用をめざします。
	ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. ゴールドマン・サックス・オルタナティブ・トレンド・ポートフォリオ	金利、国債、株式、コモディティ、通貨セクター等	トレンド・ストラテジーを用いる複数のヘッジファンドから構成されるポートフォリオのリターンの特徴に概ね連動した運用をめざします。
	ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. ゴールドマン・サックス・グローバル・エクイティ・ロング・ショート・ポートフォリオ	主に北米およびヨーロッパにフォーカスした日本を含む世界の株式、株式関連証券およびデリバティブ等	ロング・ショート戦略等を用いて、資産価値増加（キャピタル・ゲイン）からなる絶対リターンを獲得することをめざします。
	ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. ゴールドマン・サックス・グローバル・アブソリュート・リターン・ポートフォリオ	日本および新興国を含む世界の株式、株式関連証券、債券、社債、通貨、商品先物等およびデリバティブ	さまざまな投資戦略を用いて、戦術的に資産配分を行い、利息収入（インカム・ゲイン）と資産価値増加（キャピタル・ゲイン）からなるトータル・リターンを獲得することをめざします。

※ 上記投資信託証券については、日々の流出入額が純資産総額の一定割合を超える場合、純資産価格の調整が行われる場合があります。これは、資金の流出入から受ける取引コスト等が当該投資信託証券に与えるインパクトを軽減することを意図していますが、算出日における資金の流出入の動向が、純資産価格に影響を与えることになります。

※ 本ファンドの実質的な投資対象である組入れ投資信託証券に運用報酬はかかりません。上場投資信託証券（ETF）で発生する運用報酬は本ファンドを通じて間接的にご負担いただきますが、負担額は運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を表示することができません。

2016年8月現在

基準価額の変動要因

投資信託は預貯金と異なります。本ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、株式、債券、リート、コモディティ、MLPおよびヘッジファンド等さまざまな資産に投資しますので、基準価額が変動します。また、為替の変動により損失を被ることがあります。したがって、ご投資家の皆さまの投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金が割り込むことがあります。

信託財産に生じた損益はすべてご投資家の皆さまに帰属します。

主な変動要因

株式投資リスク(価格変動リスク・信用リスク)

一般に株価は、個々の企業の活動や一般的な市場・経済の状況に応じて変動します。したがって、本ファンドに組入れられる株式の価格は短期的または長期的に下落していく可能性があります。現時点において価格が上昇傾向であっても、その傾向が今後も継続する保証はありません。また、発行企業が経営不安、倒産等に陥った場合には、投資資金が回収できなくなることもあります。

債券投資リスク(価格変動リスク・信用リスク)

債券の市場価格は、金利が上昇すると下落し、金利が低下すると上昇します。金利の変動による債券価格の変化の度合い(リスク)は、債券の満期までの期間が長ければ長いほど、大きくなる傾向があります。債券への投資に際しては、債券発行体の倒産等の理由で、利息や元本の支払いがなされない、もしくは滞ること等(これを債務不履行といいます。)の信用リスクを伴います。一般に、債券の信用リスクは、発行体の信用度が低いほど、大きくなる傾向があります。債券の格付けは、トリプルB格以上が投資適格格付け、ダブルB格以下が投機的格付けとされています。投資適格格付けと投機的格付けにおいては、債務不履行率に大きな格差が見られます。

新興国への投資に伴うリスク

新興国への投資には、先進国の市場への投資と比較して、カントリー・リスクの中でも特に次のような留意点があります。すなわち、財産の収用・国有化等のリスクや社会・政治・経済の不安定要素がより大きいこと、市場規模が小さく取引高が少ないことから流動性が低く、流動性の高い場合に比べ、市況によっては大幅な安値での売却を余儀なくされる可能性があること、為替レートやその他現地通貨の交換に要するコストの変動が激しいこと、取引の決済制度上の問題、海外との資金決済上の問題等が挙げられます。その他にも、会計基準の違いから現地の企業に関する十分な情報が得られない、あるいは、一般に金融商品市場における規制がより緩やかである、といった問題もあります。

ハイ・イールド債券投資リスク

一般にハイ・イールド債券は投資適格債券と比較して、債券発行体の業績や財務内容などの変化(格付けの変更や市場での評判等を含みます。)により、債券価格が大きく変動することがあります。特に信用状況が大きく悪化するような場合では、短期間で債券価格が大きく下落することがあります。また、ハイ・イールド債券は投資適格債券と比較して、債務不履行が生じる可能性が高いと考えられます。

リート投資リスク

一般にリーートの市場価格は、リートに組み入れられる個々の不動産等の価値や一般的な市場・経済の状況に応じて変動します。リートは、その収益の大部分を賃料収入が占めており、景気動向や不動産の需給の影響により、賃料や稼働率の低下あるいはテナントの債務不履行・倒産等によって賃料収入が低下し、収益性が悪化することがあります。収益性の悪化がリーートの市場価格の下落をもたらすことや、本ファンドが受領するリートからの配当金が減少することもあります。リートへの投資リスクとしては、その他、信用リスク、金利リスクなどが挙げられます。

主な変動要因(続き)

ヘッジファンド等への投資に伴うリスク

本ファンドは、ヘッジファンド等のオルタナティブ資産に投資することがあります。ヘッジファンド等は、デリバティブ取引を含むさまざまな投資手法を用いて、ファンドの純資産規模に対して大きな取引および建玉(買いまたは売りの両方を含みます。)を発生させることがあります。このような場合、市場価格の変動以上に損失が拡大する可能性があります。

コモディティ投資リスク

コモディティ投資においては、さまざまな商品先物市場の変動の影響を受けます。個々の商品先物の価格は、商品の需給関係の変化、天候、農業生産、貿易動向、為替レート、金利の変動、政治的・経済的事由および政策、疾病、伝染病、技術発展等のさまざまな要因に基づき変動します。

為替変動リスク

本ファンドは、投資判断により対円で為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図る場合がありますが、為替ヘッジを行うにあたりヘッジ・コストがかかります(ヘッジ・コストとは、為替ヘッジを行う通貨の金利と円の金利の差に相当し、円の金利の方が低い場合、この金利差分収益が低下します。)。為替ヘッジを行わない場合は、為替変動の影響を直接的に受け、円高局面ではその資産価値を大きく減少させる可能性があります。なお、本ファンドは、為替ヘッジとは別に、収益の向上をめざして多通貨運用戦略を行う投資信託証券に投資することがあります。したがって、本ファンドへの投資には為替リスクが伴います。

MLP投資リスク

MLP*の価格は、大規模な設備投資等を行うため、MLPの事業を取り巻く環境や資金調達動向、金利変動等の影響を受けて変動します。ファンドが組み入れるMLPの価格の下落やMLPに関連する法律・税制等の変更により、本ファンドの基準価額が影響を受けることがあります。

*MLPには、MLP、MLP持分を所有する会社、ETF、ETN等を含みます。

本戦略に伴うリスク

本ファンドは、市場環境等の変化に応じて柔軟に資産配分を変更し、リスク抑制のため、値動きの特徴が異なる投資対象を効果的に組み合わせることをめざしますが、市場の混乱や急激な変動、経済危機等により、市場参加者がリスク回避傾向を強めた場合等において、多数の資産が同時かつ急激に下落する局面では、本ファンドの基準価額が大きく下落することがあります。

その他の留意点

本ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。

リスク管理体制

運用チームとは独立したマーケット・リスク管理専任部門がファンドのリスク管理を行います。マーケット・リスク管理専任部門では、運用チームと独立した立場で、運用チームにより構築されたポジションのリスク水準をモニタリングし、各運用チーム、委託会社のリスク検討委員会に報告します。

リスク検討委員会は、法務部、コンプライアンス部を含む各部署の代表から構成されており、マーケット・リスク管理専任部門からの報告事項等(ファンドの運営に大きな影響を与えると判断された流動性に関する事項を含みます。)に対して、必要な報告聴取、調査、検討、決定等を月次で行います。

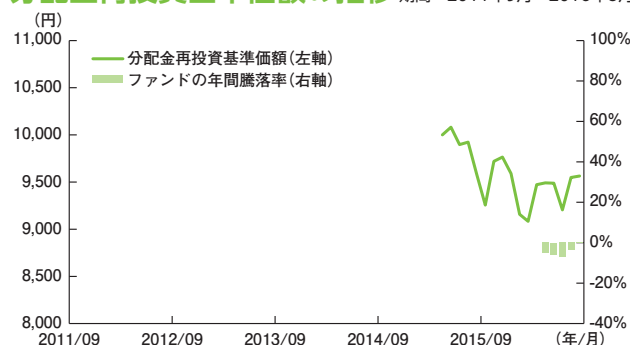
参考情報

下記は過去の実績であり、将来の成果を保証するものではありません。

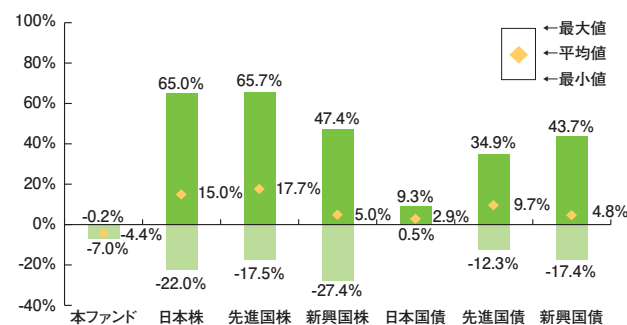
積極プラン(年2回決算)

本ファンドの年間騰落率および
分配金再投資基準価額の推移

期間：2011年9月～2016年8月

本ファンドと他の代表的な
資産クラスとの騰落率の比較

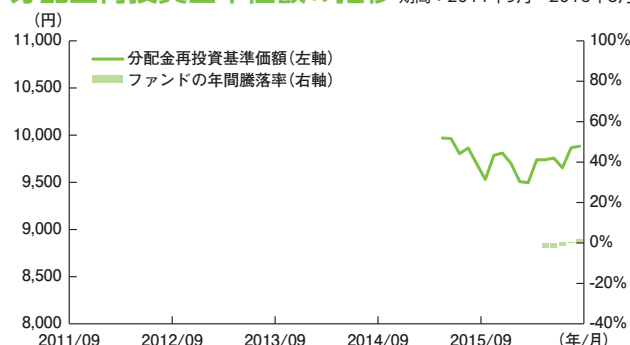
期間：2011年9月～2016年8月



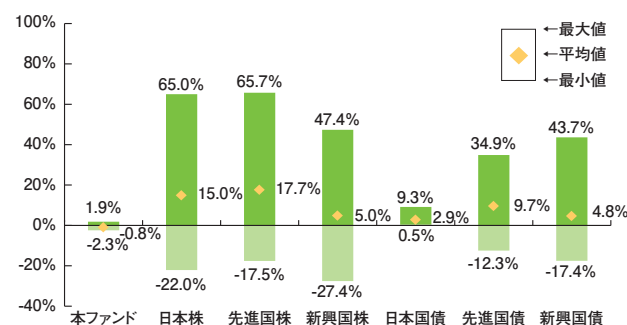
安定プラン(年2回決算)

本ファンドの年間騰落率および
分配金再投資基準価額の推移

期間：2011年9月～2016年8月

本ファンドと他の代表的な
資産クラスとの騰落率の比較

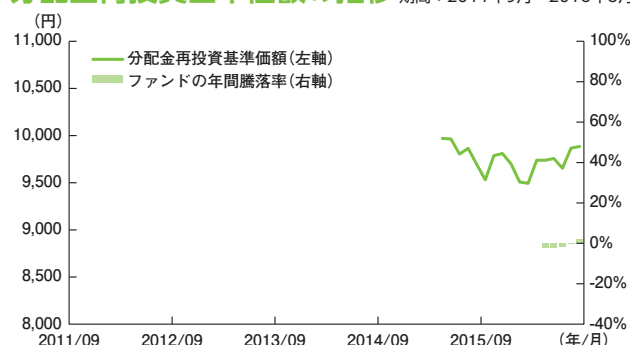
期間：2011年9月～2016年8月



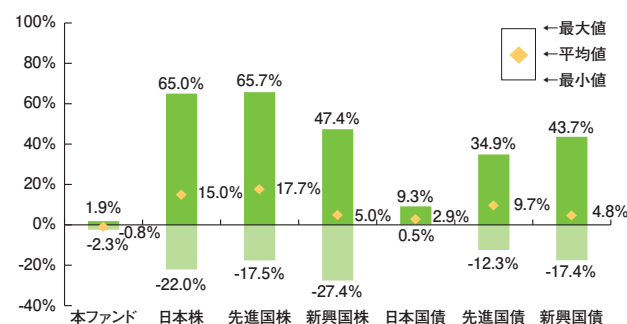
安定プラン(毎月決算)

本ファンドの年間騰落率および
分配金再投資基準価額の推移

期間：2011年9月～2016年8月

本ファンドと他の代表的な
資産クラスとの騰落率の比較

期間：2011年9月～2016年8月



- 年間騰落率は各月末における直近1年間の騰落率を表示したものです。

- グラフは、本ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。
- すべての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。
- 上記のグラフは、過去5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を表示したものです。

- ファンドの設定日が2015年4月21日のため、左グラフの分配金再投資基準価額(月次)は2015年4月末以降のデータを表示する一方、左右グラフのファンドの騰落率については、ファンド設定1年後の2016年4月末以降のデータを表示しています。

● 各資産クラスの指数

日本株：東証株価指数(TOPIX)(配当込み)

先進国株：MSCI コクサイ・インデックス(配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円換算ベース)

日本国債：NOMURA-BPI 国債

先進国債：シティ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド(円ベース)

※海外の指数は、円貨での投資を想定して、円ベースまたは円換算ベースの指数を採用しております。

最新の運用実績は委託会社のホームページまたは販売会社でご確認いただけます。
下記は過去の実績であり、将来の成果を保証するものではありません。

2016年8月31日現在

積極プラン(年2回決算)

基準価額・純資産の推移 2015年4月21日(設定日)～2016年8月31日



●分配金再投資基準価額および期間別騰落率(分配金再投資)とは、本ファンドの決算時に収益の分配があった場合に、その分配金(税引前)で本ファンドを購入(再投資)した場合の基準価額および騰落率です。●基準価額および分配金再投資基準価額は、1万口当たりの値です。

基準価額・純資産総額

基準価格	9,564円
純資産総額	44.2億円

期間別騰落率(分配金再投資)

期間	ファンド
1ヵ月	0.17%
3ヵ月	0.80%
6ヵ月	5.30%
1年	-0.19%
3年	—
5年	—
設定来	-4.36%

分配の推移(1万口当たり、税引前)

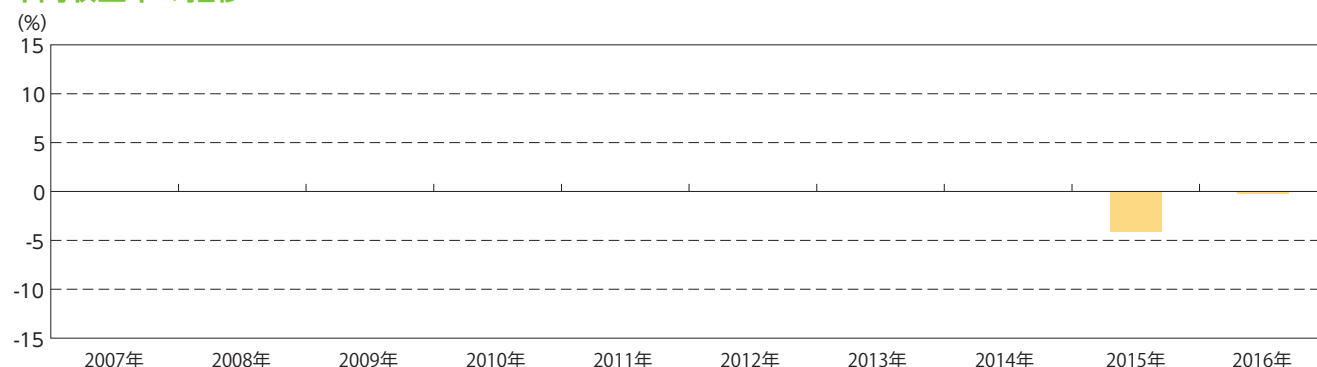
決算日	—	—	15/8/19	16/2/19	16/8/19	直近1年累計	設定来累計
分配金	—	—	0円	0円	0円	0円	0円

●運用状況によっては、分配金の金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

主要な資産の状況

	資産区分	ファンド名称	配分比率
1	先進国債券	ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. ゴールドマン・サックス・グローバル・フィックス・インカム・ポートフォリオ(為替ヘッジあり)	20.4%
2	先進国株式	ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. ゴールドマン・サックス・グローバル CORE エクイティ・ポートフォリオ	19.6%
3	先進国株式	ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. ゴールドマン・サックス・グローバル・エクイティ・パートナーズ	8.3%
4	グローバル小型株式	ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. ゴールドマン・サックス・グローバル・スモール・キャップ CORE エクイティ・ポートフォリオ	8.3%
5	ヘッジファンド	ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. ゴールドマン・サックス・グローバル・ストラテジック・マクロ・ボンド・ポートフォリオ	8.3%
6	新興国債券	ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. ゴールドマン・サックス・エマージング・マーケット・デット・ポートフォリオ	7.6%
7	新興国債券	ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. ゴールドマン・サックス・エマージング・マーケット・デット・ローカル・ポートフォリオ	5.1%
8	新興国株式	iシェアーズ・コア MSCI エマージング・マーケット IMI UCITS ETF	4.6%
9	ハイ・イールド債券	ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. ゴールドマン・サックス・グローバル・ハイ・イールド・ポートフォリオ	3.1%
10	インフラ	iシェアーズ・グローバル・インフラストラクチャー ETF	3.1%

年間収益率の推移



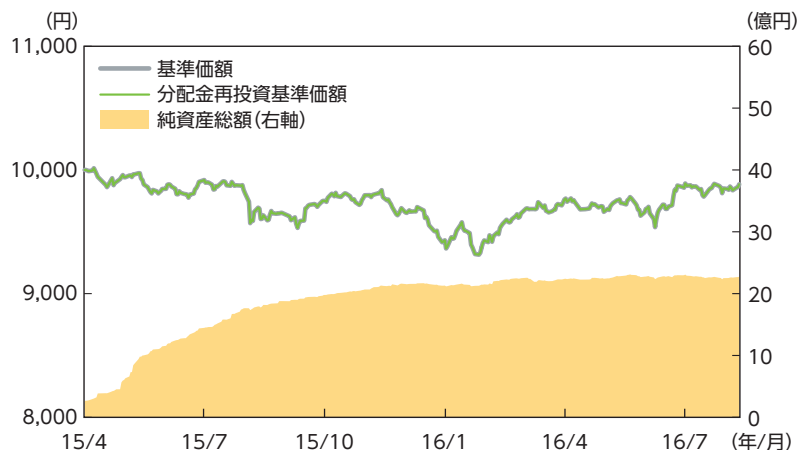
●本ファンドの収益率は、分配金(税引前)を再投資したものととして算出しています。
●本ファンドにベンチマークはありませんので、ファンド設定日前の年間収益率について記載していません。
●2015年は設定日(4月21日)から年末までの騰落率、2016年は1月から8月末までの騰落率を表示しています。

最新の運用実績は委託会社のホームページまたは販売会社でご確認いただけます。
下記は過去の実績であり、将来の成果を保証するものではありません。

2016年8月31日現在

安定プラン(年2回決算)

基準価額・純資産の推移 2015年4月21日(設定日)～2016年8月31日



● 分配金再投資基準価額および期間別騰落率(分配金再投資)とは、本ファンドの決算時に収益の分配があった場合に、その分配金(税引前)で本ファンドを購入(再投資)した場合の基準価額および騰落率です。● 基準価額および分配金再投資基準価額は、1万口当たりの値です。

基準価額・純資産総額

基準価格	9,884円
純資産総額	22.7億円

期間別騰落率(分配金再投資)

期間	ファンド
1ヵ月	0.17%
3ヵ月	1.30%
6ヵ月	4.11%
1年	1.95%
3年	—
5年	—
設定来	-1.16%

分配の推移(1万口当たり、税引前)

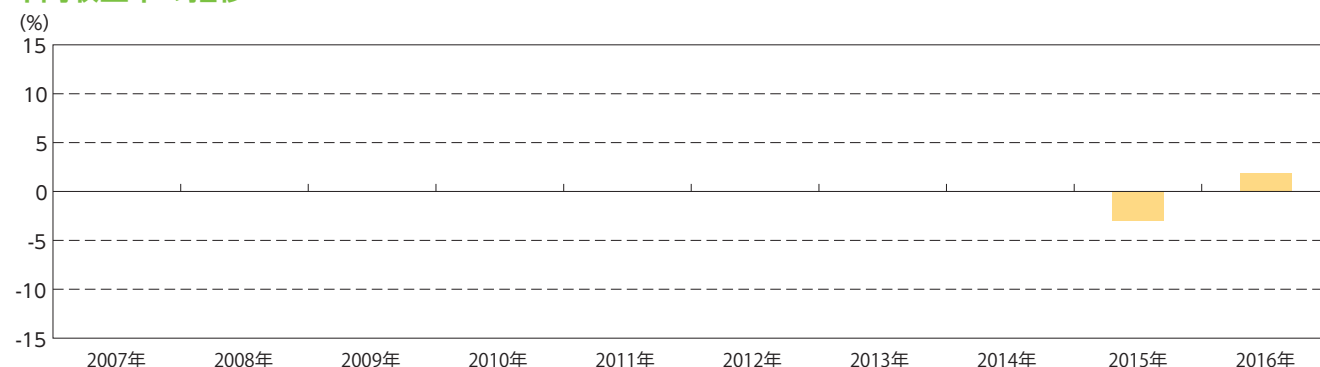
決算日	—	—	15/8/19	16/2/19	16/8/19	直近1年累計	設定来累計
分配金	—	—	0円	0円	0円	0円	0円

● 運用状況によっては、分配金の金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

主要な資産の状況

	資産区分	ファンド名称	配分比率
1	先進国債券	ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. ゴールドマン・サックス・グローバル・フィクスト・インカム・ポートフォリオ(為替ヘッジあり)	53.0%
2	先進国株式	ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. ゴールドマン・サックス・グローバル CORE エクイティ・ポートフォリオ	9.9%
3	ヘッジファンド	ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. ゴールドマン・サックス・グローバル・ストラテジック・マクロ・ボンド・ポートフォリオ	6.7%
4	グローバル小型株式	ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. ゴールドマン・サックス・グローバル・スモール・キャップ CORE エクイティ・ポートフォリオ	4.0%
5	先進国株式	ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. ゴールドマン・サックス・グローバル・エクイティ・パートナーズ	3.9%
6	グローバル社債	ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. ゴールドマン・サックス・グローバル・クレジット・ポートフォリオ(為替ヘッジあり)	3.5%
7	新興国債券	ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. ゴールドマン・サックス・エマージング・マーケット・デット・ポートフォリオ	2.6%
8	新興国債券	ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. ゴールドマン・サックス・エマージング・マーケット・デット・ローカル・ポートフォリオ	2.5%
9	新興国株式	iシェアーズ・コア MSCI エマージング・マーケット IMI UCITS ETF	2.1%
10	インフラ	iシェアーズ・グローバル・インフラストラクチャー ETF	1.9%

年間収益率の推移



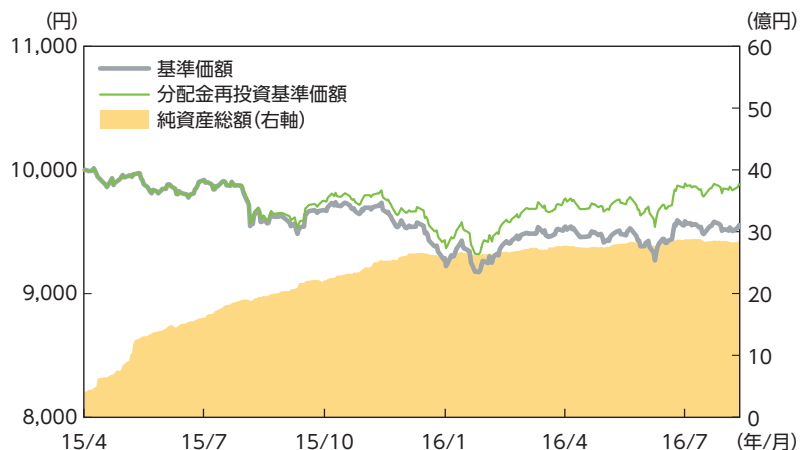
● 本ファンドの収益率は、分配金(税引前)を再投資したものととして算出しています。
● 本ファンドにベンチマークはありませんので、ファンド設定日前の年間収益率について記載していません。
● 2015年は設定日(4月21日)から年末までの騰落率、2016年は1月から8月末までの騰落率を表示しています。

最新の運用実績は委託会社のホームページまたは販売会社でご確認いただけます。
下記は過去の実績であり、将来の成果を保証するものではありません。

2016年8月31日現在

安定プラン(毎月決算)

基準価額・純資産の推移 2015年4月21日(設定日)～2016年8月31日



●分配金再投資基準価額および期間別騰落率(分配金再投資)とは、本ファンドの決算時に収益の分配があった場合に、その分配金(税引前)で本ファンドを購入(再投資)した場合の基準価額および騰落率です。●基準価額および分配金再投資基準価額は、1万口当たりの値です。

基準価額・純資産総額

基準価格	9,552円
純資産総額	28.4億円

期間別騰落率(分配金再投資)

期間	ファンド
1ヵ月	0.18%
3ヵ月	1.29%
6ヵ月	4.09%
1年	1.94%
3年	—
5年	—
設定来	-1.17%

分配の推移(1万口当たり、税引前)

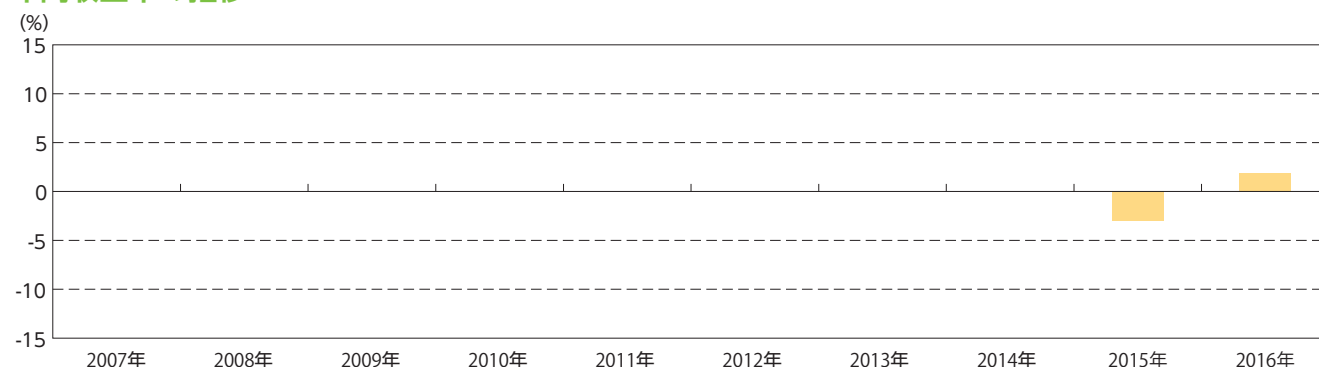
決算日	15/9/24	15/10/19	15/11/19	15/12/21	16/1/19	16/2/19	16/3/22	16/4/19	16/5/19	16/6/20	16/7/19	16/8/19	直近1年累計	設定来累計
分配金	25円	25円	25円	25円	25円	25円	25円	25円	25円	25円	25円	25円	300円	325円

●運用状況によっては、分配金の金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

主要な資産の状況

	資産区分	ファンド名称	配分比率
1	先進国債券	ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. ゴールドマン・サックス・グローバル・フィクスト・インカム・ポートフォリオ(為替ヘッジあり)	53.0%
2	先進国株式	ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. ゴールドマン・サックス・グローバル CORE エクイティ・ポートフォリオ	9.9%
3	ヘッジファンド	ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. ゴールドマン・サックス・グローバル・ストラテジック・マクロ・ボンド・ポートフォリオ	6.7%
4	グローバル小型株式	ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. ゴールドマン・サックス・グローバル・スモール・キャップ CORE エクイティ・ポートフォリオ	4.0%
5	先進国株式	ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. ゴールドマン・サックス・グローバル・エクイティ・パートナーズ	3.9%
6	グローバル社債	ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. ゴールドマン・サックス・グローバル・クレジット・ポートフォリオ(為替ヘッジあり)	3.5%
7	新興国債券	ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. ゴールドマン・サックス・エマージング・マーケット・デット・ポートフォリオ	2.6%
8	新興国債券	ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. ゴールドマン・サックス・エマージング・マーケット・デット・ローカル・ポートフォリオ	2.5%
9	新興国株式	iシェアーズ・コア MSCI エマージング・マーケット IMI UCITS ETF	2.1%
10	インフラ	iシェアーズ・グローバル・インフラストラクチャー ETF	1.9%

年間収益率の推移



●本ファンドの収益率は、分配金(税引前)を再投資したものととして算出しています。
●本ファンドにベンチマークはありませんので、ファンド設定日前の年間収益率について記載していません。
●2015年は設定日(4月21日)から年末までの騰落率、2016年は1月から8月末までの騰落率を表示しています。

お申込みメモ

購 入 単 位	販売会社によって異なります。
購 入 価 額	購入申込日の翌営業日の基準価額
購 入 代 金	販売会社が指定する日までにお支払いください。
換 金 単 位	販売会社によって異なります。
換 金 価 額	換金申込日の翌営業日の基準価額
換 金 代 金	原則として換金申込日から起算して6営業日目から、お申込みの販売会社を通じてお支払いいたします。
購入・換金申込不可日	英国証券取引所、ニューヨーク証券取引所もしくはルクセンブルク証券取引所の休業日またはロンドン、ニューヨークもしくはルクセンブルクの銀行の休業日および12月24日(以下「ファンド休業日」といいます。)
申 込 締 切 時 間	「ファンドの休業日」を除く毎営業日の原則として午後3時まで
購入の申込期間	2016年5月20日から2017年5月19日まで (申込期間は、上記期間満了前に有価証券届出書を提出することによって更新されます。)
換 金 制 限	信託財産の資金管理を円滑に行うため、各ファンドそれぞれについて1顧客1日当たり3億円を超える大口のご換金は制限することがあります。
購入・換金申込受付の中止および取消	金融商品取引所における取引の停止、外国為替取引の停止その他合理的な事情があるときは、ご購入およびご換金の受付を中止または既に受付けたご購入およびご換金のお申込みを取消す場合があります。
信 託 期 間	原則として無期限(設定日：2015年4月21日)
繰 上 償 還	各ファンドそれぞれについて純資産総額が100億円を下回ることとなった場合等には繰上償還となる場合があります。
決 算 日	積極プラン(年2回決算)および安定プラン(年2回決算)：毎年2月19日および8月19日(ただし、休業日の場合は翌営業日) 安定プラン(毎月決算)：毎月19日(ただし、休業日の場合は翌営業日)
収 益 分 配	積極プラン(年2回決算)および安定プラン(年2回決算)：年2回の決算時に原則として収益の分配を行います。販売会社によっては分配金の再投資が可能です。 安定プラン(毎月決算)：毎月の決算時に原則として収益の分配を行います。販売会社によっては分配金の再投資が可能です。 ※運用状況によっては、分配金の金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。
信託金の限度額	各ファンドについて1兆円を上限とします。
公 告	公告を行う場合は日本経済新聞に掲載します。
運 用 報 告 書	年2回(2月および8月)の決算時および償還時に、期中の運用経過などを記載した交付運用報告書を作成し、販売会社を通じて知れている受益者に対してお渡しいたします。
ス イ ッ チ ン グ	販売会社によっては、各ファンド間でスイッチングが可能です。 ※スイッチングの際には換金時と同様に換金されるファンドに対して税金をご負担いただきます。くわしくは販売会社までお問い合わせください。
課 税 関 係 (個 人 の 場 合)	課税上は株式投資信託として取扱われます。 公募株式投資信託は少額投資非課税制度(NISA)の適用対象です。 配当控除の適用はありません。

■ファンドの費用・税金

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

購入時	購入時手数料	購入申込日の翌営業日の基準価額に3.24% (税抜3%)を上限として販売会社が定める率を乗じて得た額とします。 (くわしくは販売会社にお問い合わせいただくか、購入時手数料を記載した書面等をご覧ください。) 購入時手数料は、商品および投資環境に関する情報提供等、ならびに購入に関する事務手続きの対価として販売会社が得る手数料です。
換金時	信託財産留保額	なし

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

毎 日	運用管理費用 (信託報酬)	純資産総額に対して		年率 1.539%(税抜1.425%)		
		内訳				
		支払先の配分 および 役務の 内容	委託会社	ファンドの運用 受託会社への指図 基準価額の算出 目論見書・運用報告書等の作成 等	年率0.756% (税抜0.7%)	
			販売会社	購入後の情報管理 運用報告書等各種書類の送付 分配金・換金代金・償還金の支払い業務 等	年率0.756% (税抜0.7%)	
			受託会社	ファンドの財産の管理 委託会社からの指図の実行 等	年率0.027% (税抜0.025%)	
※本ファンドの実質的な投資対象である組入れ投資信託証券に運用報酬はかかりません。上場投資信託証券(ETF)で発生する運用報酬は本ファンドを通じて間接的にご負担いただきますが、負担額は運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を表示することができません。						
※運用管理費用は、毎計算期末または信託終了のときに信託財産中から支払われます。						
	信託事務の諸費用	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、印刷費用など信託事務の諸費用が信託財産の純資産総額の年率0.1%相当額を上限として定率で日々計上され、毎計算期末または信託終了のときに信託財産中から支払われるほか、マザーファンドの組入れ投資信託証券の信託事務の諸費用が各投資信託証券より支払われます。				
随 時	その他の費用・手数料	有価証券売買時の売買委託手数料や資産を外国で保管する場合の費用等 上記その他の費用・手数料(マザーファンドの組入れ投資信託証券において発生したものを含みます。)はファンドより実費として間接的にご負担いただきますが、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。				

※上記の手数料等の合計額については、ご投資家の皆さまがファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

税金

税金は表に記載の時期に適用されます。

以下の表は、個人投資者の源泉徴収時の税率であり、課税方法等により異なる場合があります。

時 期	項 目	税 金	
分配時	所得税および 地方税	配当所得として課税	普通分配金に対して20.315%
換金(解約)時および 償還時	所得税および 地方税	譲渡所得として課税	換金(解約)時および償還時の差益(譲渡益) に対して20.315%

上記は、2016年11月18日現在のものです。

少額投資非課税制度「愛称：NISA(ニーサ)」をご利用の場合

少額投資非課税制度(NISA)をご利用の場合、販売会社で非課税口座を開設するなど、一定の条件に該当する方を対象に、以下の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が5年間非課税となります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。

・20歳以上の方…毎年、年間120万円まで

・20歳未満の方…毎年、年間80万円まで

NISAの非課税期間(5年)以内に信託期間が終了(繰上償還を含む)した場合、制度上、本ファンドで利用した非課税投資額(NISA枠)を再利用することはできません。

なお、税法が改正された場合には、税率等が変更される場合があります。また、法人の場合は上記とは異なります。税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。



Asset Management

GS 年金型投資戦略ファンド
積極プラン(年2回決算)／安定プラン(年2回決算)／安定プラン(毎月決算)